

「学校のルール」をわかりやすく説明しよう

2 年 組 番 名前

1. 班のメンバー		
班長	班員 1 (副班長)	班員 2 (書記)
班員 3	班員 4	班員 5
2. あなた達の班に与えられたテーマは何ですか？		
3. あなた達は与えられたテーマについて、どのようなイメージで作品を作りますか？ 〔例〕クイズ形式、ビデオドラマ形式、アニメーション形式、ニューステロップ形式等		
4. 「プレゼンテーション」で大切なことを思い出そう 中学 1 年生のときに「発明家・起業家を調べよう」の授業で、「プレゼンテーション」を経験しました。約 1 年が経ちましたが、「プレゼンテーション」で気をつけなければならない内容を覚えていますか？パワーポイントを作る前に、もう一度「プレゼンテーション」で大切なことを復習しておきましょう。		
4-1. 「プレゼンテーションとは？」 (①) の意思を (②) に伝え、説明して受け入れてもらえるように発表することです。まず、班で (1)～(3) の内容をしっかり確認しよう (1) _____ (2) _____ (3) どのように発表するか？→これは、上の 3. のところで決めましたね。		
4-2. 何に注意したらよいか？ (1) 発表の条件を考えよう 今回のプレゼンテーションの条件は、 ➤ 時間：(③) 分以内 ➤ 場所：(④) <本番は講堂> ➤ 対象：(⑤) <本番は新入生を対象> ★新入生対象ということは、全くルールを知らない人に説明すること！ここを十分に意識してスライドを作成しよう！		

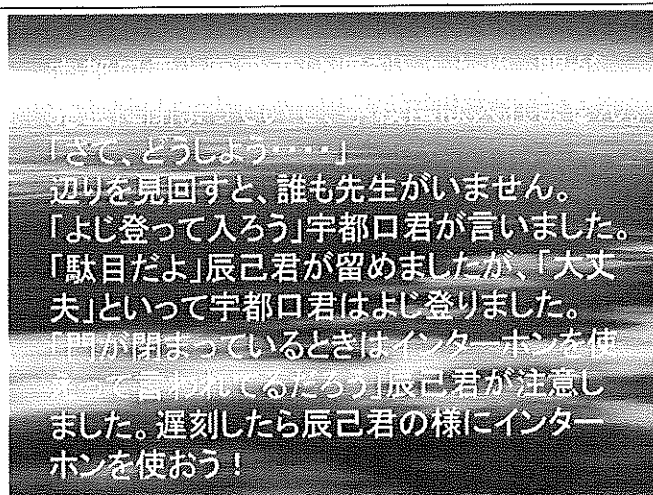
資料 6

(2) スライドのビジュアル化を図ろう

スライドを見た瞬間、全て文字でうまっている……。あなたなら見る気が起きますか？イヤですね。そこで、できるだけ文字による表現を少なくし、イラストや写真を用いて「一目でわかるスライド作り」を心がけましょう。

では、なぜビジュアル化が良いのか？それは、視覚に訴えるコミュニケーションは、他の感覚器官に比べ約(⑥) 倍の情報伝達力があります。しかし、いくら視覚による情報が良いからといって、文字ばかりでは見る気がしませんね(このプリントもか……)

＜注意＞パワーポイントには(⑦) 効果という機能があります。文字や図を自由に動かしたり、音を入れたりする機能です。大変効果的な機能ですが、やりすぎるとかえってうっとうしくなり、うんざりします。使いすぎに気をつけて！



＜ビジュアル化の効果的な例＞

あなたは、どちらの方がわかりやすいと思いますか？

(3) 聞いている人を引きつける工夫をしよう

照れたようにもじもじして、小さな声で何を言っているかわからない……。こんな人が説明しても聞いている人は退屈しますね。そこで、話し方も大切なポイントになります。

話し方のポイントを確認しよう。

- _____ <案外教室は声を通らない>
- _____ <演技手が照れるとしらけてしまう>
- _____ <「遅すぎるかな？」と思うくらいが良い>

★発表形式によっては、「ボケとツッコミ」を入れたり、聞いている人を巻き込んだ対話形式の発表もできます。各班のセンスが光る原稿を用意しよう！

4-3. 良いプレゼンテーションの4つの条件は？

①	②
③	④